

騒然としたレース中でもクリアな会話を提供 “鈴鹿8耐”を戦った ノイズキラーインカム



MIDLAND BT NEXT PRO Hi-fi

価格●3万2184円（シングルホワイトモデルも同価格）、
6万2424円（ツイン）
最大通信距離●約1.6km 最大通話可能人数●8人
●LINKS ☎075-708-2362 info@linksofjapan.jp
http://www.midlandradio.jp

今年も熱いドラマに彩られた“コカ・コーラ”鈴鹿8時間耐久ロードレース。けたたましいエキゾーストノートが響きわたるコース横での連絡徹底を図るため、ミッドランドのインカムを活用して戦うチームがいた。

まとめ●小川恭範 photo●岡 拓 / LINKS



●4人が同時通話できるインカムだから、申し送り時の勘違いも防止（写真はライダー兼サインボード係の佐藤龍彦さん）



●レース中、走行するライダーにチームの意思を伝える唯一の方法がサインボード。聞き間違えによるミスは許されない



●「インカムの導入で、じっくり戦略を練る時間ができたのは本当に大きかったですね」と西村監督（写真手前）。なお、このヘッドセットは非売品だ

「突然の降雨やセーフティカー導入で、いつピットインさせるか、タイヤ交換と給油はどうすればいいのか、判断の難しい状況が続きました。ただ、出した結論をサインボードに反映させる作業は、インカムのおかげで非常に楽でした」とは、1970年代に結成されたヤマハ社内チームで、第1回の鈴鹿8耐から参戦している名門「警団レーシングファミリー」の現監督、西村一之さん。

昨年まではピットレインを往復して直接指示していたが、その労力が減り、天候急変を知らせるモニター画像を吟味できる時間も増えたため、よりの確な判断が下せたという。

「監督から次々に連絡が来るのですが、『えっ、何ですか?』と聞き直したことは1回もなかったですね」とはサインボード係を担当した松崎翔太さん。ちょうど今年、ミッドランドのインカムはノイズキャンセリング機能をバージョンアップ（後述）したため、効果は絶大だったようだ。

チームは34位完走。ノイズの少ないインカムによる円滑な意思疎通が転倒を防いだと西村監督は笑った。



「走行中の風切り音というのは本当にジャマな存在だよ」——岩城

澤田●「BT TALK」は通話だけでなく相手の位置を地図で見るところもできますので、より便利にお使いいただけると思います。

岩城●そうですね。だから仲間とはぐれてもどこにいるのかがすぐに分かるし、距離も関係ないから道を間違えた仲間にも「今の交差点は右じゃない、左だ!」ってすぐに伝えられるからラクですよ。

澤田●だからこそ、ドライブレコーダーよりも大事なですね。

岩城●そう。もう今はインカムを使



「引き続きいい製品を提供できるように、取り組んで参ります」——澤田

うことに慣れてしまったけど、もしもなくなってしまうたらものすごく不便さを感じるでしょうね。

澤田●全くですね。

岩城●もっと性能が上がればさらに便利で快適になると思いますけど、これだけの性能をこの価格で買えることが素晴らしいと思いますね。

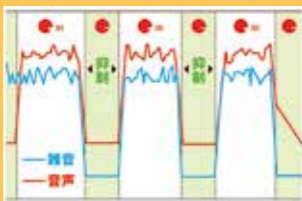
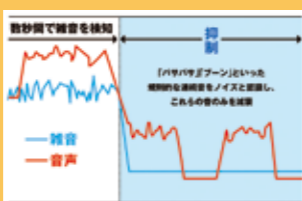
澤田●ありがとうございます。これからもいっそうバイクツーリングを快適に、楽しいものにできる製品を提供していきます。

岩城●楽しみです、期待してます。

会話を邪魔するノイズを低減!



ミッドランドと英国の音響技術研究会との共同開発により完成した最新のノイズキャンセリング機能 [MWe(ミッドランド・ウインド・エクスペリエンス)]。最新モデルに搭載されているこのファームウェアは、無料ダウンロードすることで、BTプロシリーズすべてに適用させることができる。BTプロシリーズのユーザーなら絶対にアップデートしておこう。



【ノイズキラー】
●風切り音やエンジン音など、連続する“バックグラウンドノイズ”を認識して、その音の成分を最大10分の1にまで削減してくれる

【ノイズゲート】
●会話音声のない無音時にはフィルターの役割を司るゲート機能が雑音をカット。マイクから入る音の80%を削減することに成功した

距離・人数無制限で話せる

独創の「BT TALK」

ミッドランド専用のインカムアプリ「BT TALK」は、対応するインカム、BTTボタンとの併用で世界初の距離&人数無制限の通話を実現（特許申請中）。スマホがインターネットにつながる限り、相手が地球上のどこにいても話せるのだ。



●BT TALKは画面上のボタン、もしくは別売りのBTTボタンを押しながら話すトランシーバー式。電話式のLINE通話よりデータ量を抑えているので状況変化に強い